

テーマ

- ①自治会活動等に参加して感じた課題
- ②自治会活動等で工夫していること、前向きに取り組んでいること

No.	区分	ご発言	回答 ※【 】で記載されているものは、当日の発言です。 （ ）で記載されているものは、座談会後に市の考え方を示したものです。
1	工夫	役員の平均年齢を40代後半へ若返らせた。 また、平日の対応は年配者にお願ひし、世代バランスをとってみんなでの活動を目指してやっている。	(地域政策課) ご提案のように、役員の若返りを進めつつ、平日の対応を年配世代が担うなど世代ごとの強みを活かした役割分担は、町内自治会の負担軽減と持続可能な運営につながる大変有効な取組です。 熊本市としても、このような自治会運営を重要と考えており、「熊本市町内自治会組織の運営に関するガイドライン」の活用を通して、今後も地域の実情に応じた工夫を後押ししてまいります。 ○熊本市町内自治会組織の運営に関するガイドラインについて（熊本市ホームページ） <a href="https://www.city.kumamoto.jp/kiji00363806/index.html">https://www.city.kumamoto.jp/kiji00363806/index.html</a>
2	工夫	これまででは、「今までこうやってきた」と若い人達の意見が通らなかったが、校区の新設をきっかけにアイデアを積極的に出すようにしたら、意見が通りやすくなった。	(地域政策課) 自由に意見を出し合うことで、若い世代の声が反映されやすくなった点は、大変有意義な取組であると考えます。幅広い世代の意見を取り入れることは、持続可能な自治会運営につながりますので、今後も継続していただければと考えます。
3	工夫	防災訓練やお祭りを小学校などと合同で開催し、こどもと高齢者の顔見知りを増やしてきた。今では、地域の人の距離が近くなって、交通指導員とこどもが手をとって横断歩道を渡ってる姿も見られ、やってよかったと思った。	(地域政策課) 今回お聞かせいただいた場面は、これまでの世代間交流の成果だと思えます。地域の人の距離が近づき、日常の中で自然な見守りや交流が生まれていることは大変意義深いものです。今後も、このような取組を継続していただくとともに、他の地域にも広がるよう支援してまいります。
4	工夫	自治会の規約を大幅に改正し、会長の任期を最長6年に定めることで、役員交代の仕組みを明記した。	(地域政策課) 役員交代の仕組みを具体的に明記することは、担い手の固定化を防ぎ、将来にわたって組織を維持していくうえで有効な取組です。 このような事例を横展開し広げてまいります。
5	工夫	地域の方が日頃から清掃されていたため、一斉清掃は必ず行うのではなく必要に応じて実施することにした。	(地域政策課) 町内自治会活動は地域住民主体で、実情に合わせて見直ししながら進めることが推奨されます。お話しいただいた取組は負担軽減と活動の持続性の観点から望ましい運用といえます。
6	工夫	高齢者がこどもに声をかけただけで不審者扱いされることがあったため、地域のつながりを保つ目的で、こどもと大人が自然に触れ合える交流企画を実施した。	(地域政策課) こどもと大人が安心して触れ合う機会を設けることは、顔の見える関係づくりや見守りの充実にも寄与する有意義な取組といえます。 このような事例を横展開して広げてまいります。
7	ご意見	自治会長の業務内容を見える化することで、新しい担い手が出てくると思う。自治会長の業務を手伝いたくても、何が大変で、どんな業務があるのかが分からないため手伝いづらい。	(地域政策課) ご意見のとおり、自治会長の業務内容を見える化することは、「何をしているのか分からないため参加しづらい」という課題の解消につながると考えます。 また、会長や役員だけで抱え込まず、軽い作業から役割を分けて協力をお願いすることで、「少しだけならできる」という方の参加が広がり、担い手の確保にもつながります。 「熊本市町内自治会組織の運営に関するガイドライン」などで紹介してまいります。 ○熊本市町内自治会組織の運営に関するガイドラインについて（熊本市ホームページ） <a href="https://www.city.kumamoto.jp/kiji00363806/index.html">https://www.city.kumamoto.jp/kiji00363806/index.html</a>
8	ご意見	こどもを地域で見守る昭和の関係性を大事にしたい。日常のつながりが地域づくりになると考える。	(地域政策課) 日々の声かけや見守りといった身近な関係性の積み重ねが、地域づくりの基盤となります。日常的なつながりが、地域の安心・安全につながる大切な取組であると考えます。
9	ご意見	否定されず意見を聞いてもらえる環境が大切であり、意見が言えない会合はお通夜のような。寄り添い合う姿勢が楽しい活動につながる。	(地域政策課) ご意見のとおり、さまざまな考え方を尊重しながら話し合いを行い、住民の声を活動に反映していくことが、参加しやすく魅力ある地域活動につながると考えます。
10	ご意見	自治会活動の中でハラスメント発言で不快になることがある。皆の意識改革が必要だと思う。	(地域政策課) 自治会活動では、互いの価値観や立場を尊重しながら、安心して意見を出し合える関係づくりが大切です。 総会などの機会を通じて、ハラスメントに関する啓発などを行っていくことが重要です。 また、本市でも「熊本市町内自治会組織の運営に関するガイドライン」などを活用して注意喚起を行ってまいります。 ○熊本市町内自治会組織の運営に関するガイドラインについて（熊本市ホームページ） <a href="https://www.city.kumamoto.jp/kiji00363806/index.html">https://www.city.kumamoto.jp/kiji00363806/index.html</a>

テーマ

- ①自治会活動等に参加して感じた課題
- ②自治会活動等で工夫していること、前向きに取り組んでいること

No.	区分	ご発言	回答 ※【 】で記載されているものは、当日の発言です。 （ ）で記載されているものは、座談会後に市の考え方を示したものです。
11	ご意見	定年が65歳になり、今後さらに上がる可能性がある。60歳で地域に関わる流れが難しくなり、自治会長の平均年齢も必然的に上がってしまう。	<p>（地域政策課） ご提案のとおり、定年延長等により、60歳前後で地域活動に関わることが難しくなっていることは、自治会役員の高齢化や担い手不足につながる課題であると認識しています。そのため、業務の分担や活動内容の見直し、参加しやすい時間設定、さらにはデジタルツールの活用による効率化など、多様な世代が無理なく関われる運営への転換が有効な方策として考えられます。 今後は、こうした工夫により現役世代も含めた幅広い参加を促し、持続可能な町内自治会の運営につなげていくことが重要と考えられます。 「熊本市町内自治会組織の運営に関するガイドライン」に、「持続可能な町内自治会へ」編がございますので、ぜひ参考にしていただければと思います。 ○熊本市町内自治会組織の運営に関するガイドラインについて（熊本市ホームページ） <a href="https://www.city.kumamoto.jp/kiji00363806/index.html">https://www.city.kumamoto.jp/kiji00363806/index.html</a></p>
12	ご意見	IT化が進んでいるのにアナログで面倒な部分が多く、効率化したい。	<p>（地域政策課） 回覧・行事連絡・出欠管理などはデジタル化で負担を軽減できます。特に、SNS・メール等の活用に加え、行事や清掃等のボランティア募集は「くまもとアプリ」の活用が有効です。 「熊本市町内自治会組織の運営に関するガイドライン」に、デジタルツールの活用事例を掲載しておりますので、ぜひご参考ください。 ○熊本市町内自治会組織の運営に関するガイドラインについて（熊本市ホームページ） <a href="https://www.city.kumamoto.jp/kiji00363806/index.html">https://www.city.kumamoto.jp/kiji00363806/index.html</a></p>
13	ご意見	自治会活動は屋間に行われることが多く、若い世代は仕事の都合で参加しにくい。	<p>（地域政策課） 自治会活動が屋間中心で参加しにくいというご意見は、多くの地域に共通する課題であると認識しております。 こうした状況を踏まえ、自治会活動への参加を促進するため、会議の開催方法についてはオンラインの活用など、時間や場所にとらわれない工夫が有効と考えます。 また、「くまもとアプリ」を活用したボランティア募集により、若い世代や自治会未加入者が、無理のない形で地域活動に関わるきっかけづくりも可能となります。ぜひ積極的な活用をご検討してください。 ○熊本市「くまもとアプリ」特設サイト <a href="https://kumamoto-point.jp/">https://kumamoto-point.jp/</a></p>
14	ご意見	住民とだけでなく、企業と一緒に地域づくりをやっていくことも大事だと思う。	<p>【東区】 東区では、4年前から地域の方達の活性化であったり、担い手不足を解決できないかと考え、地域と企業のマッチング事業を始めました。 今後も進めていきたいと思っています。</p> <p>（中央区総務企画課） 中央区では、令和6年度から「地域と企業等を結ぶ応援事業」を実施しており、課題を抱えている地域団体と社会貢献を希望する企業や学校をマッチングして、地域の課題解決や地域活性化への取組を支援しています。</p> <p>（東区総務企画課） 東区では、地域力パワーアップ大作戦として、課題を抱える地域団体等と地域貢献をしたい事業所等を繋げることで、地域課題の解決を図るとともにコミュニティを活性化させ、持続する地域づくりを支援する事業を令和4年度から実施しています。</p> <p>（西区総務企画課） 西区においては、本年8月から「つながるプロジェクト」事業を開始するにあたり、3月に地域・企業・学校を対象とした事前説明会を実施しています。 今後、地域住民と学校・企業が一体となって課題を話し合う場を創出し、具体的な連携や取組につなげることで、地域全体で課題解決に取り組む地域づくりを推進していきます。</p> <p>（南区総務企画課） 南区では、令和8年度から、地域の活性化や課題の解決を目的として、地域と事業者が連携して取り組む新たな事業を開始する予定です。 本事業では、地域が抱えるさまざまな課題に対し、事業者の持つノウハウや資源を活かしながら協働で解決を図るとともに、地域の魅力向上や持続可能なまちづくりの推進を目指します。</p> <p>（北区総務企画課） 北区では、地域活動の担い手不足や急増する外国人との共生など多様な地域課題が生じていることから、北区内4つのまちづくりセンターごとに、地域・企業・学校が一堂に会し北区の未来について談話する場「集談会」を設け、お互いの現状や困りごとを共有し、地域課題等を解決するために協力し合う関係づくりを進めています。</p>
15	ご質問	熊本市における自治会長の平均年齢と、これまでの推移を教えてください。	<p>【地域政策課】 令和7年度末における自治会長の平均年齢は71.0歳であり、平成29年度末から令和7年度末まで、約1.6歳上昇しています。</p> <p>（地域政策課） 自治会加入率などの状況を知りたい場合は、熊本市ホームページにも公開しておりますので、ぜひご参照ください。 ○町内自治会（熊本市ホームページ） <a href="https://www.city.kumamoto.jp/kiji0031815/index.html">https://www.city.kumamoto.jp/kiji0031815/index.html</a></p>

テーマ

- ①自治会活動等に参加して感じた課題
- ②自治会活動等で工夫していること、前向きに取り組んでいること

No.	区分	ご発言	回答 ※【 】で記載されているものは、当日の発言です。 （ ）で記載されているものは、座談会後に市の考え方を示したものです。
16	ご質問	自治会長の報酬について、ガイドラインに基準などはありますか。	<p>【地域政策課】 ガイドラインに基準などはございません。地域の皆様でご判断していただければと思います。</p> <p>（地域政策課） 自治会長の報酬については、熊本市で金額等の具体的な基準は定めておりません。 町内自治会は任意団体であることから、役員に対する報酬の有無や金額については、各町内自治会の実情に応じて、総会などで決定することとされています。</p>